

(7) 管理棟・職員研修施設・救急教育センター			5,670.00	m ²	受援施設としての機能を付加（作戦本部）
1	事務室	207.00	m ²		
1	応接室	34.00	m ²		
1	所長室	34.00	m ²		
1	会議室	103.00	m ²		
1	洗面洗濯室	51.00	m ²		
1	WC1	51.00	m ²		
1	資器材庫	86.00	m ²		
1	下足室	42.00	m ²		
1	シャワー室	63.00	m ²		救命士以外の職員と兼用
1	倉庫 1	20.00	m ²		
1	倉庫 2	32.00	m ²		
1	車庫	194.00	m ²		乗用車 6 台
1	医務室	32.00	m ²		衛生管理室含む
1	講師控室	42.00	m ²		6 室
1	市民防災啓発室	207.00	m ²		オープンスペース・市民啓発用展示
1	WC2	51.00	m ²		
2	実習室A	207.00	m ²		可動間仕切
2	実習室B	207.00	m ²		
2	資器材倉庫A	51.00	m ²		
2	資器材倉庫B	51.00	m ²		
2	職員会議室	57.00	m ²		
2	倉庫 1	30.00	m ²		
2	倉庫 2	35.00	m ²		
2	WC	51.00	m ²		
2	職員更衣室	50.00	m ²		
2	休憩室	50.00	m ²		
2	研修者更衣室	168.00	m ²		
2	発電機室	86.00	m ²		
2	電気室	120.00	m ²		
3	教室 1	207.00	m ²		
3	教室 2	207.00	m ²		
3	教室 3	86.00	m ²		
3	教室 4	86.00	m ²		
3	教室 5	86.00	m ²		
3	教室 6	86.00	m ²		
3	倉庫	35.00	m ²		
3	研修者更衣室 1	34.00	m ²		
3	研修者更衣室 2	23.00	m ²		
3	制御室・サーバー室	77.00	m ²		
3	シミュレーション室	233.00	m ²		大部屋230m ² 、制御室及びサーバー室70m ² 、 銀室25m ² ×4室
3	WC	51.00	m ²		
4	寮室（男子）	231.00	m ²		11m ² ×21室
4	寮室（女子）	132.00	m ²		11m ² ×12室
4	談話室	36.00	m ²		冷蔵庫・IHコンロなど簡易キッチン オープンスペース
4	図書室	77.00	m ²		1000冊以上
4	倉庫	20.00	m ²		
4	WC	51.00	m ²		

(8・9) 常駐消防隊施設・備蓄倉庫			5,270.00	m ²	
1	車庫	440.00	m ²		特殊消防車両8台（一部車両は別棟可能）
1	防火衣乾燥室	13.00	m ²		配置人数22名、当務人員7名、24時間勤務
1	資器材倉庫	45.00	m ²		
1	出勤準備室	32.00	m ²		
1	通信室	13.00	m ²		
1	WC	13.00	m ²		
1	備蓄倉庫	3,100.00	m ²		危機管理室
2	事務室	78.00	m ²		配置人数22名、当務人員7名、24時間勤務
2	通信機器室	9.00	m ²		
2	書庫物品室	12.00	m ²		
2	待機室	60.00	m ²		5m ² ×12室
2	洗面浴室	36.00	m ²		
2	WC	25.00	m ²		
2	体育訓練室	28.00	m ²		
2	食堂	38.00	m ²		
2	倉庫	29.00	m ²		
2	消防倉庫	1,040.00	m ²		消防局
(10) 車庫			330.00	m ²	大型バス1台、トラック1台、消防車両4台、救急車1台
(11) 危険物倉庫			20.00	m ²	
(12) 自家給油施設			100.00	m ²	ガソリン5000リットル、軽油5000リットル

■概要

新施設の棟別面積表を示す。横列に今回計画施設、縦列に必要機能を列挙しているが、出来る限り同一棟に施設集約を行い、棟数を減らすことで延べ床面積・建築面積の縮減を図り、全体工事費縮減に努めている。

棟番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計 (㎡)
名称	総合訓練施設	屋内訓練・水難訓練施設	風水害訓練場	救助訓練施設	大規模災害訓練場	街区訓練場	管理棟	常駐消防隊施設	備蓄倉庫・消防倉庫	車庫	危険物倉庫	自家給油施設	
総合訓練施設	1,690												
救助訓練施設				1,340									
風水害訓練場			200										
屋内訓練施設		990											
水難訓練施設		420											
燃焼実験施設・防災研究施設	440												
市民防災訓練施設	365												
大規模災害訓練場					4,600								
倒壊建物訓練場					400								
街区訓練場（移動式模擬家屋）						756							
管理棟・職員研修施設 ・救急教育センター							5,670						
車庫										330			
常駐消防隊施設								1,130					
災害用備蓄倉庫・消防倉庫									4,140				
自家給油施設												100	
各種資器材倉庫	90												
危険物倉庫											20		
延べ面積（建屋）	2,585	1,410		1,340			5,670	1,130	4,140	330	20		16,625
延べ面積（建屋＋舗装）	2,585	1,410	200	1,340	5,000	756	5,670	1,130	4,140	330	20	100	22,681

≦18,600

■ユニバーサルデザイン

○誰もがわかりやすい案内サイン・誘導表示

- ・初めて訪れた施設利用者にも分かりやすいよう、視認性が高い場所に総合案内を配置する。
- ・すべての来庁者が迷わずに目的地に向かうことができるよう、分かりやすくて見やすいサイン（案内表示、誘導表示、カラー表示、点字表示等）を導入する。



大きなサイン

○明快で移動しやすい動線

- ・だれにでも分かりやすい空間となるよう、シンプルで明快な空間構成とする。
- ・車いすの利用者等すべての利用者が安全安心して、快適に通行できる見通しのよい十分な広さのある通路幅を確保するとともに、段差をなくした動線とする。
- ・誰もが利用しやすい、ゆとりのある大きさのエレベーターを設置する。
- ・階段は上り下りのしやすい蹴上・踏面とするとともに、適切に手摺を設置する。



ゆとりのある廊下

○誰もが利用しやすい駐車場

- ・来庁者駐車場については利用しやすさに配慮し、エントランスの近くに配置する。
- ・障がい者や高齢者等の利用に配慮し、「車いす優先区画」を整備する。
- ・駐車場からエントランスまで、人と車の交錯のないよう配慮する。

○各種法令等への適合

- ・高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）に基づく「大阪市ひとにやさしいまちづくり整備要綱」に関して、建築物移動等円滑化基準へ適合する。

■各感染症への配慮

- ・自然換気を行えるよう、居室はできるだけ外気に面する配置を検討する。
- ・適切な距離感を保てるよう、ゆとりある執務空間を検討する。
- ・抗菌・抗ウィルス等の機能を持つ素材の採用を検討する。

■SDGs※への配慮

※ Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称

- ・居室はできる限り自然採光とし、快適に働ける環境づくりに配慮する。
- ・寮室・待機室の個室化を検討する。
- ・生活空間における音漏れに配慮した諸室配置を検討する。
- ・入浴時や更衣時のプライバシーへの配慮を検討する。
- ・自然エネルギーを活用し、エネルギー負荷の低減に配慮する。
- ・掘削土量を抑える施設配置とし、環境負荷低減に配慮する。
- ・敷地内でできるだけ多くの訓練が可能な計画とし、消防力向上に寄与する。
- ・災害時に消防・支援機能を維持できるよう、適切な耐震安全性を備えた施設とする。

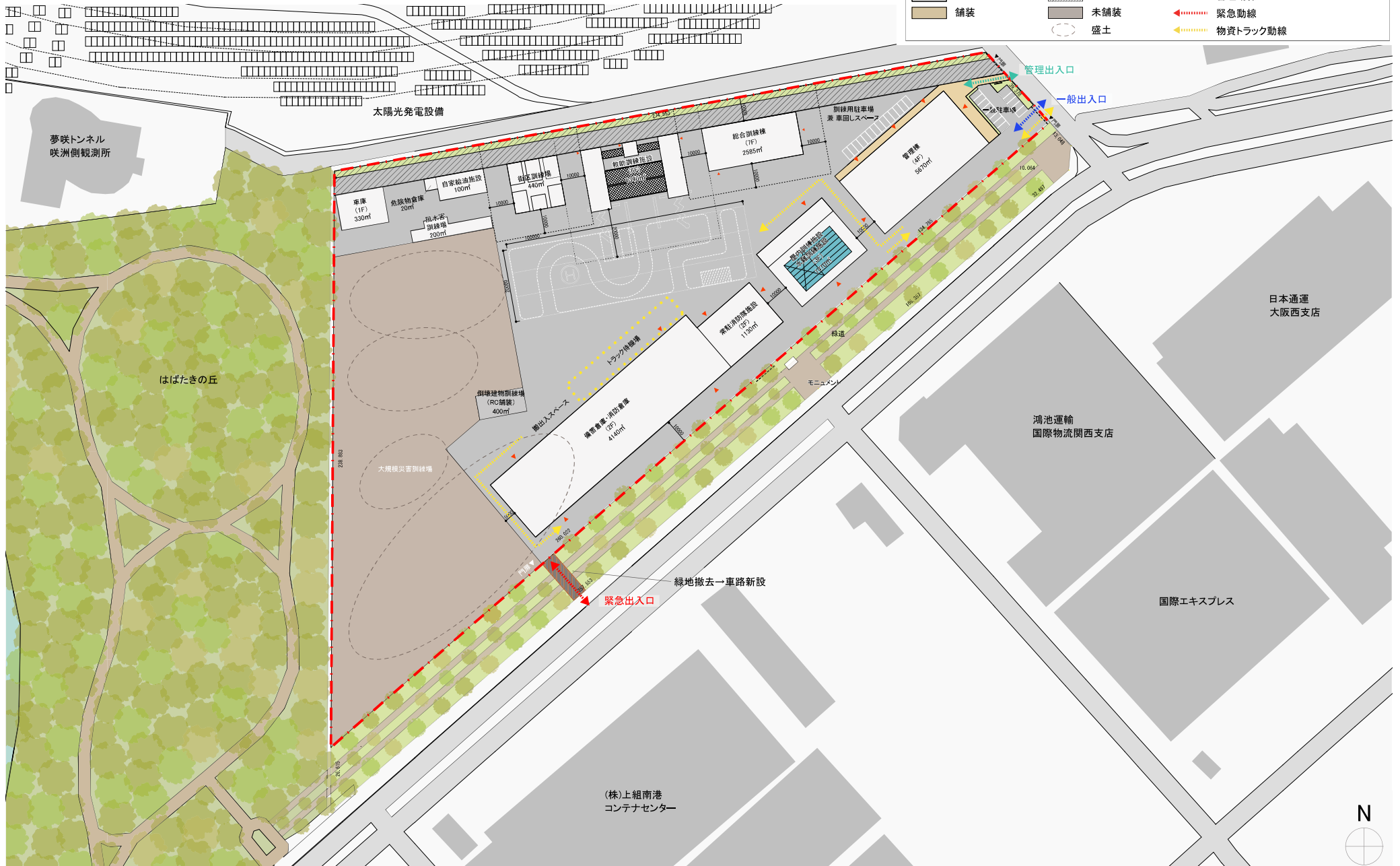


■ゾーニング比較表

異形の敷地形状に屋外訓練スペースと良好な動線を確保しながら、できるだけ盛土への干渉が少ない施設配置案として A-D の 4 案を作成し、比較検討を行い、総合的な評価により C 案を採用している。

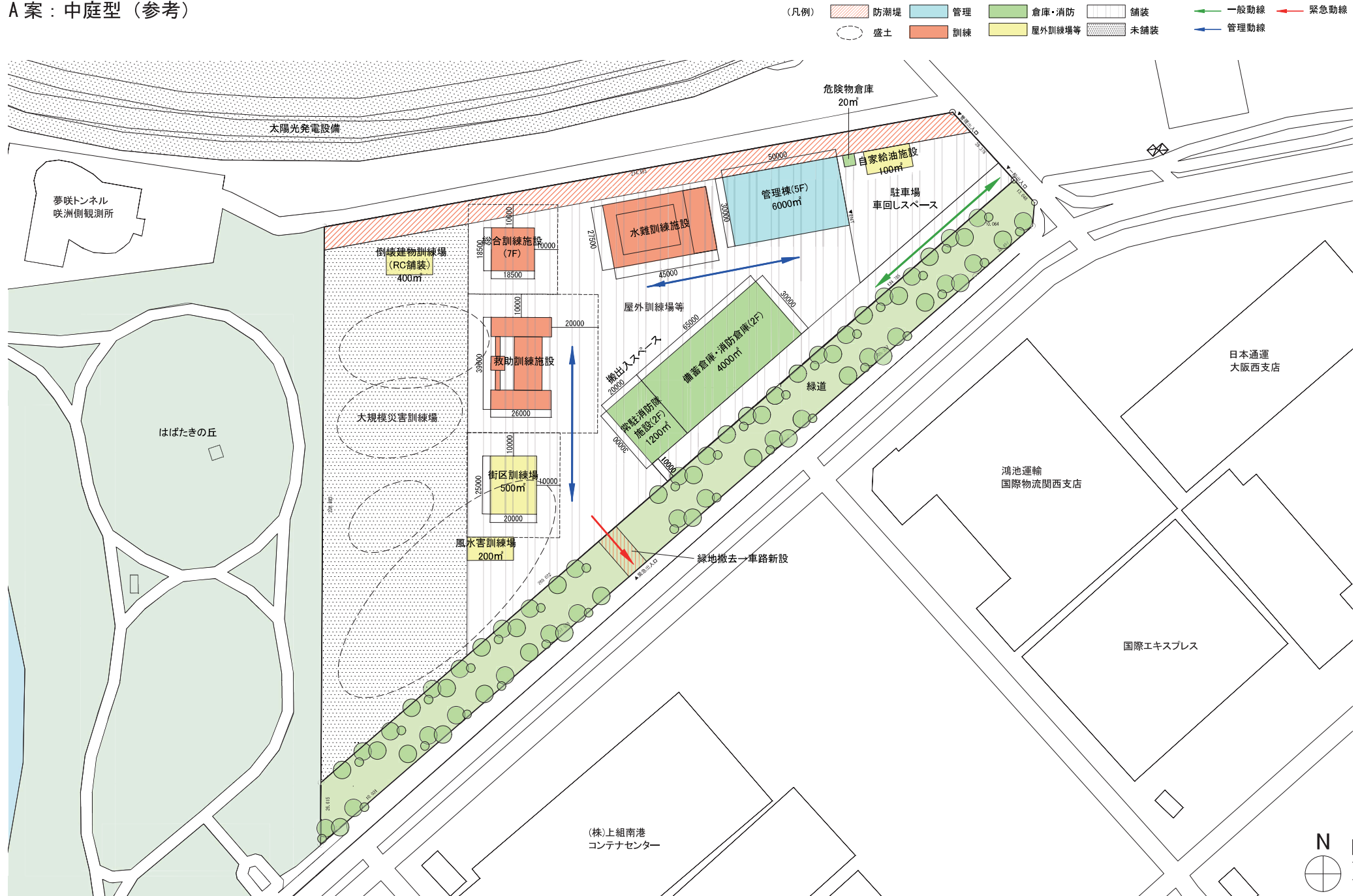
種別	A案：中庭型		B案：北側集中型		C案：バランス型		D案：南側集中型	
図								
断面イメージ								
評価項目	評価	備考	評価	備考	評価	備考	評価	備考
配置	○	・広場のプライバシー性が高い ・未造成の盛土エリアが目立たない ・大きな平場の確保が難しく、形状が異形になる	○	・緑道と広場が隣接し、まちに開いた計画となる ・大きな広場を確保できる ・未造成の盛土エリアが目立つ可能性がある	○	・南側に建物を集約するため、表裏が作られる ・比較的大きな平場が確保できる ・未造成の盛土エリアが目立つ可能性がある	○	・南側に建物を集約するため、表裏が作られる ・大きな平場が確保できる ・未造成の盛土エリアが目立つ可能性がある
動線	○	・施設間の動線が短い ・倉庫等⇄出入口が近く、緊急車両のアクセス性がよい ・訓練施設へのアクセスに、広場を横断する必要がある。	×	・施設間の動線が長い ・倉庫等⇄出入口が遠く、緊急車両のアクセス性が乏しい	◎	・施設間の動線が短い ・倉庫等⇄出入口が近く、緊急車両のアクセス性がよい	○	・施設間の動線が長い ・倉庫を盛土上に配置するため、緊急車両のアクセス性が乏しい
周辺環境	×	・訓練棟と野鳥園が近く、環境的な影響が懸念される ・北側の太陽光パネルへの日影配慮が必要	○	・西側の野鳥園への環境的な影響が少ない ・北側の太陽光パネルへの日影配慮が必要	○	・西側の野鳥園への環境的な影響が少ない ・北側の太陽光パネルへの日影配慮が必要	◎	・西側の野鳥園への環境的な影響が少ない ・北側の太陽光パネルへの日影配慮が不要
盛土	×	・盛土への影響が比較的大きい	○	・盛土への影響が比較的小さい	○	・盛土への影響が比較的小さい	×	・盛土への影響が大きい ・盛土上の建築を行う場合、コスト増要因となる
総合評価	△		○		◎		○	

C案（採用）

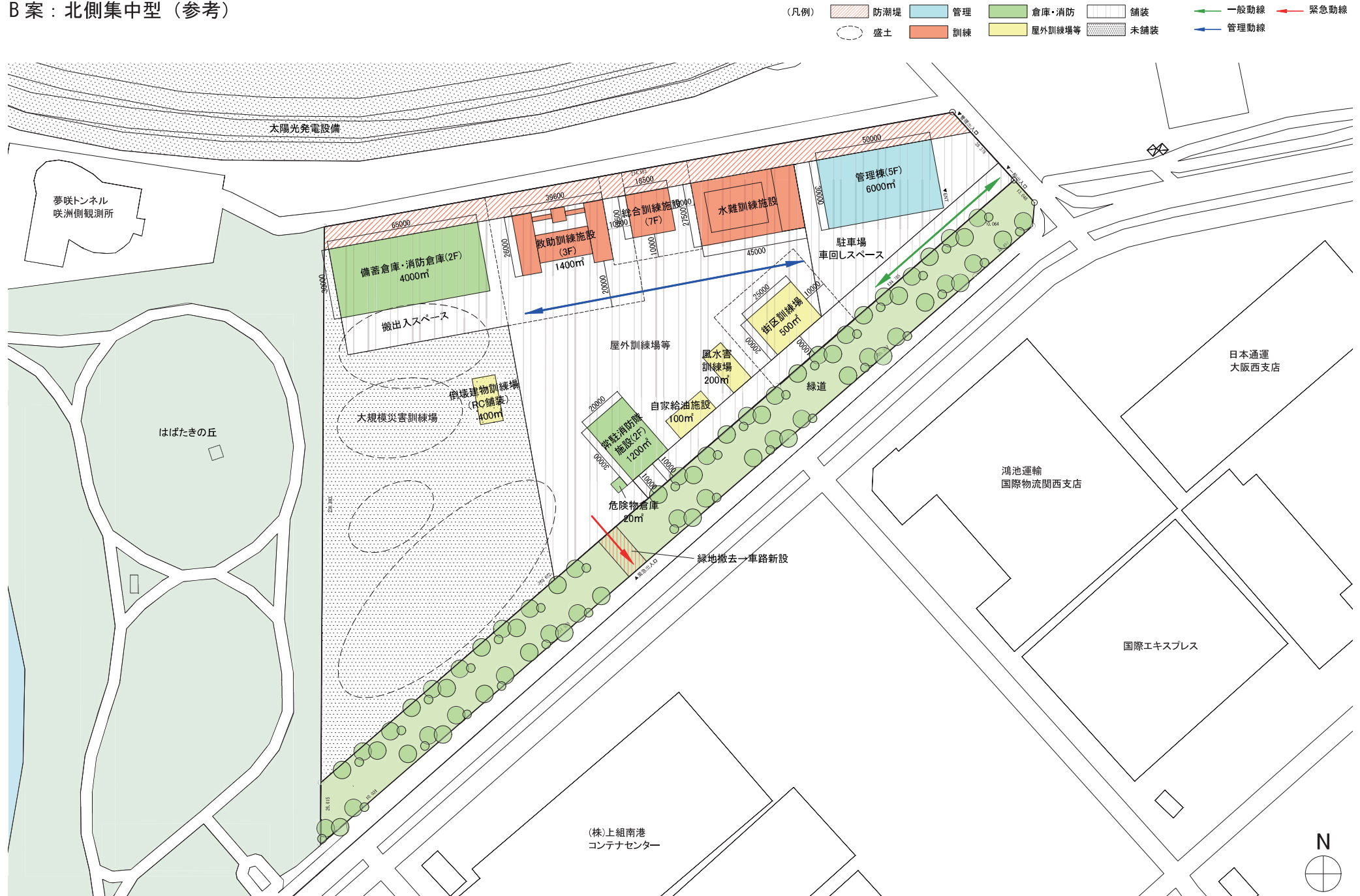


配置計画図 1:1500

A 案：中庭型（参考）



B 案：北側集中型（参考）



D 案：南側集中型（参考）

